

# 活力ある職場維持への取り組み

中津川営林署 労務厚生係長 洞 口 儀 弘

## 1 目 的

国有林野事業においては、新たな「改善計画」に基づき決意を新たに全職員が一丸となって経営の健全性の早期確立へ全力を挙げて取り組んでいるところですが、営林署における現下の状況は、その取り巻く厳しい環境から、ややもすると職場の活力が失われがちとなり、その持続が重要な課題となっています。平成5年度の業務方針においても、地域における各種イベントの積極的な参加などを通じて活力ある職場の維持に努めることとしています。

このため、業務運営に当たって、焦点を絞り職員の創意工夫を活かした行事や作業を進めるとし、以下報告する事項について積極的に取り組み、職員間の連携・協力体制の強化と活力ある職場の維持増進を図りました。

## 2 取り組み状況

明るく活力ある職場の維持増進を図る上で、職員各自が、①業務方針や業務計画をしっかり把握していること、②組織の一員としてその役目を着実に果たすこと、③創意工夫を図り行動力と相互協力を最大限発揮することが重要であり、このことを重点に考え、余裕を持った計画と職員への周知を徹底し行事や作業を円滑に進めました。

### (1) 当署の特色を活かした植樹行事の実施

例年、主伐した新植地での植樹を行ってきましたが、管内国有林の地質は深層風化の進んだ花崗岩が大半で、崩壊地率が高く治山事業は重要な業務となっていること、また、平成5年2月に地元岩村町と「郷土の森」を締結したことから、国有林治山事業の一層の理解を深めるとともに「郷土の森」の活用促進を図ることを主目的として植樹祭を行いました。

平成4年度に崩壊地周辺の間伐材を利用した「丸太積み土止工」の復旧治山工事を施工した箇所ので、これに接して「郷土の森」が設定されています。

趣旨に理解を頂いた岩村町の多大な協力を得て、①山腹工事の施工地にヤマツツジ、ケヤキなど緑化樹木の植栽を通じて国有林治山の説明、②保護林である「郷土の森」の紹介と町民の憩いの場等活用計画の案内、③会場までの森林浴を楽しみながら森林管理等国有林野事業のPR、④小学生代表による緑の宣言や小学生とともに楽しむ森林教室の開催等有意義なプログラ

ムとしました。

また、式典会場には間伐材による特設舞台の設置や会場へ通ずる遊歩道沿いには治山事業、森林施業等の説明標識を掲示して、随所に職員の真心や工夫が現れ、ひと味変わった植樹祭に参加者から大変好評を頂くとともに、職員一人ひとりがまさに国有林PRマンとして思いっきり活躍した植樹祭となりました。

## (2) 地域に溶け込む庁舎周辺の環境整備の推進

来訪者の印象や職員の志気を高めるため、職員が知恵と工夫を凝らした環境整備を図りました。要員調整過程で日々の業務に追われる中であっても、活力ある職場の維持には「できることからまず実行」との考えのもと、職員が精力的に取り組みました。

### ① 新たな庁舎標識の設置

初めての来訪者でもよく分かるように、かつ営林署のイメージに合ったものにしようと、公道に面して見やすい箇所に、木製で手作りの目を引く重厚な署名板を設置しました。

### ② 大木桜堤の整備

庁舎敷の一角に当地方では希な老木の大木桜堤があり、通行者や地域の人々の目を楽しませています。しかしながら、この周囲に焼却炉や老朽化した板塀などがあって景観を損ねていたことから、この改善を図るため、焼却炉の移転と板塀の改修を行ったほか、桜堤に間伐材を活用して地元の象徴である恵那山を形どった囲障を設けるとともに併せて花壇を整備することとしました。

これらの環境整備で、来訪者や付近の住民などからは、工夫され融和した環境となりさすがに営林署らしいと好評を得ており、隣接小学校の先生や父兄・生徒からも憩いの場として親しまれるなどイメージアップになりました。

## (3) 林産物の積極的な販売活動の展開

経常事業部門の財政の健全化を着実に推進するため、創意工夫をこらして最大限の収入の確保に努めているところですが、中でも木材の販売については、署長をはじめ販売担当が、ここ2年間に購入して頂いた顧客の方々へ遠近を問わず積極的に訪問し、日頃のお礼に併せて販売物件の紹介と意見などの情報把握を行いました。この情報を踏まえて販売対策委員会で検討を加え、市場動向に則した適切な生産・販売を展開しました。

すなわち、顧客からは新鮮材の供給が強く求められ、これに対応して生産・販売期間の短縮を図るため、集荷状況に則した物件の提供や月2回販売に取り組んだほか、3.3m柱材の継続生産、駿府城修繕用材の受注生産や誠意を示した接遇に努め、途切れていた応札の復帰と継続が進むとともに、顧客から熱心な販売活動でそう快であると評価を頂いております。

#### (4) 効果的な国有林標識類の整備

公道に接した国有林でPR効果の高い箇所を選んで、国有林野事業の理解を深めるため人目を引く手作りの標識を設置しました。また、既設の各種標識についても、保存状況、設置場所の適否等を一齐に点検し、改善・改修の必要なものについて逐次整備を図るよう取り組みましたが、相当数にのぼっており正直なところ大変な作業であると実感しています。

#### (5) 手軽に職員の親睦促進を図る卓球大会の実施

各種親睦の一つとして、多くの参加が期待できる卓球大会を開催し、健康促進と楽しい親睦に努めました。眠っていた卓球台を引き出し、署内職員の大半が参加して個人戦、団体戦を行い、真剣さと笑い、珍プレーと好プレーの中で運動不足の解消とメンタルヘルスの促進が図られ、明るい職場の維持と活力の増進に大きな効果がありました。引き続き定期的に楽しむこととしており、今でも連日のように腕を磨く職員がみられます。

#### (6) このほか、職員の工夫と力を合わせ、①破損した宿舍塀の改修、②竹林を有している特性を活かしたミニ竹林の展示によるイベント参加、③外部講師による講演会の開催などを行い、業務を適切に遂行するため、前進的な活動を進めています。

### 3 結 果

国有林野事業の改善を進めるため、要員規模の適正化、組織機構の簡素化・合理化など着実に進めていかなければなりません。その過程で職場において様々な課題も抱えています。この難局を乗り切るためには、明るく活力ある職場において職員一人ひとりの能力を最大限に発揮することが重要であり、そのためには職員共通認識の上に職場が一体となることが不可欠と考えています。

上記の取り組みは、取り分け目新しいものではありませんが、職場が一体となった活力の維持に大きな役割を果たしたと確信しています。それは、職員が目的意識をしっかりとったこと、職場の明るさと行動力が示されたこと、お互いの持ち場を理解し協力関係が強まったことなどが現れており、一方では、職場の環境改善が進み、地域の構成員として営林署の理解が一層深まりました。

職場の活性化は一過性のものでなく、これを培い伝統として育てていくことが必要であり、これからも当署の良き伝統として取り組みを続け、円滑な業務運営を図る一助とする考えです。